

第1回 MIT ファミリー懇話会 なんでもお悩み相談会

[質問①]

- ◇ 週に1回の外来患者様に、在宅で自主練習にも取り組んで頂けたらと悩む方がおられます。自主練習で気を付けるべきことや、具体的な実践アイデアなど拝聴できたらと思います。

[回答]

原版では、自主練習をしていただく場合は想定していません。

自主学习については、スピーチソングを用いる場合がありますが、レベルⅣに到達していない対象者の場合には、レベルⅡやⅢで用いるメロデックな手法での語句の表出を自主学习の課題としてもよいのではと思います。

ただし、いずれも正式に手法として確立している訳ではありません。

施行してみた結果について、是非とも、当懇話会などでご報告していただけますと幸いです。

[質問②]

- ◇ MIT-J を実践する中で、これを正反応ととってよいか、誤反応と判断すべきか悩む反応が時折あります。構音の歪みの程度や、歌や、SS のリズムやピッチのズレなど、どのような基準で判断すべきか、ご指導頂けたらと思います。

[回答]

MIT の原法では、特に「正・誤」に関する判断基準は定められていません。

構音の歪みは日常の臨床で用いている基準に従って判断することでよろしいと思います。

つまり、「正・誤」の判断は、音の正確さで判断し、歪みの程度はその音形が判別可能なものであるか否かで判断します。

歌や SS のリズムやピッチのズレは、手技の問題の場合もあるので、対象者にとって適切な速度・アクセントであるかを再度検討することが大切です。

[質問③]

◇ MIT-J レベルⅡのステップ③までは比較的安定して反応できるのですが、「今な
んと言いましたか？」とステップ④になるとどうしても反応できない方がおられま
す。(ステップ③までは、ほぼ 100%の正反応です)

こういった場合でも、反応がでるまでひたすら施行数を重ねる形がよいのでしょ
うか。もしくは、難易度の設定を下げる(現在この患者様は 2 文節文で行っていま
す)形がよいのでしょうか。

[回答]

まず、このような方の反応から第一に考えられる要因としては、「今何と言いま
したか？」という質問に対して、“標的語句を答える”ということが理解されてい
ないかということです。

質問があまりに直接的で唐突に聞こえるからかもしれません。

この方の場合、標的語句を繰り返すのだということを教示し理解すれば、正反
応は得られるかもしれません。

その他の要因としては、遅延再生ができていない、課題の難易度があつてい
ない、などがあげられます。

課題の難易度の設定を下げる場合は、単語の親近性や頻度性に注意し、モー
ラ数にも配慮しながら設定するとよいでしょう。